

令和6年度 第22回高校生シンポジウム実習受入研究室募集 ご協力のお願い

プラズマ・核融合学会では、平成15年から「高校生シンポジウム」を開催して参りました。このシンポジウムでは、高校生が日頃行ってきた科学研究の成果を発表してもらい、優秀な研究発表に対して表彰を行っております。これまでのシンポジウムでは大変すばらしい研究発表が行われています。

一方、近年の研究発表内容は、そのほとんどがプラズマ以外の研究テーマとなっております。当学会では、より多くの高校生にプラズマや核融合に興味を持ってもらい、プラズマ研究、核融合研究の面白さを伝えるとともに、高校生に学習の場を提供し、広く啓発活動を進めていきたいと考えております。

そこで、平成30年度の第16回高校生シンポジウムより、全国規模でプラズマ・核融合に関する実習の場を高校生に提供して、その実習・研究内容を高校生シンポジウムで発表してもらう機会を作ることといたしました。新しい試みで実施した第16回・第17回高校生シンポジウムは大盛会で、参加した高校生からも、受け入れた研究室の指導教員からも好評でした。残念ながら、令和2、3年度（第18回、第19回）は、COVID-19の感染拡大に配慮して、学会を通しての実習受入は行いませんでした。第19回高校生シンポジウムは、令和4年1月29日にオンライン形式にて開催され、19件の研究成果の内、2件がプラズマを扱った報告でした。令和4年度（第20回高校生シンポジウム）は、実習受入研究室の内、6研究室で実習が再開され、令和5年1月28日にオンラインと対面のハイブリッド形式にて開催されました。9件の研究発表があり、その多くがプラズマに関する内容でした。令和5年度（第21回高校生シンポジウム）は、令和6年1月27日に前回同様、オンラインと対面のハイブリッド形式で開催され、7研究室で実習を受け入れていただきました。関係者のみなさまに感謝申し上げます。

今後、感染症への対応は引き続き留意が必要ですが、全国の受入研究室で実習を実施して、高校生にプラズマ研究の面白さが伝わればよいと考えております。さらに受入研究室を増やし高校生が実習を受けやすくするために、高校生への実習を担当して頂ける研究室を広く募集いたします。おおよその流れは以下のとおりです。

- ① 実習を担当する研究室の実習内容を学会ホームページにて掲載（3月末以降順次）し、参加高校を募集
- ② 高校から学会に応募（4月以降）
- ③ 応募した高校と希望研究室との相談により日程を決めて、1日～2日程度の実習とデータ解析、発表準備の指導（実習は長期休暇中が多い。オンラインによる準備指導も可。）

ご協力頂ける研究室は、学会事務局までご連絡をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

第22回高校生シンポジウム

開催日：令和6年度中（未定）

開催場所：（未定）

問い合わせ先：プラズマ・核融合学会事務局

Tel 052-735-3185

E-mail: plasma@jspf.or.jp

高校生シンポジウムにおける、プラズマ実習受入予定研究室（2024年2月現在）

北大(佐々木研)・東北大(金子・加藤研)・宇都宮大(東口研)・筑波大(坂本研)・東大(江尻・辻井研)・日大(浅井・小林研)・日大(荒巻研)・金沢大(田中・石島・中野研)・核融合研(吉村信研)・名大(大野・田中研)・京大(門研)・京都工芸繊維大(比村・三瓶研)・阪大(上田研)・大阪公立大(松浦研)・大阪公立大(白藤研)・広島大(難波研)・広島大(桧垣・伊藤研)・愛媛大(神野研・前原研)・九大(出射・池添研)・九大(花田研)